

2021

北東アジア交流の翼inしまね

島根県参加者報告

胡磊

外国人留学生

所属：島根県立大学

中国・寧夏回族自治区 出身



参加のきっかけ



私は2019年北東アジア交流の翼in島根に、寧夏の青年代表として参加しました。僅か数日ですが、島根と出会って、ホストファミリーや各国青年達との交流を通じて、日本語や日本文化において、大変勉強になりました。この経験のおかげで、島根県立大学の入学試験に受かり、今は県大の一員になりました。前回の島根青年の真剣な姿勢に感心し、前回の日本青年たちに見習い、自分も貢献しようと思って、今回の交流プログラムに参加することを決意しました。

このプログラムで 楽しかったこと

事前研修について

自分が今回の交流プログラムで島根青年の一員になり、外国青年の視点から交流プログラムの内容をアドバイスできてよかったです。

各国青年との交流について

各国青年との交流を通じて、異なる文化に触れました。特に外国青年と一緒に大学生活について話し合ったことから、学部時代の記憶が蘇りました。

このプログラムで 感じたこと

事前研修について

自分も事前研修に参加し、自分なりに提言したが、自分の日本語能力、特に会話能力がまだ下手だったため、ほかの島根青年に迷惑をかけしてしまいました。

各国青年との交流について

各国青年のそれぞれの気質について心に刻みました。ロシアの青年は陽気で、韓国青年は自信満々で、中国青年は日本青年と少し似ていて控えめでおらしいと感じました。

このプログラムから 得たもの

事前研修について

1. 島根青年やしまね国際センターの方々と協力した経験や大事な思い出
2. 今後自分が努力すべき方向: 日本語能力はもちろん、皆さんの姿勢も見習いたいです。

各国青年との交流について

1. 各国青年と交流していた大切な記憶
2. 各国の慣習やマナーに関する知識: 本から得た知識は必ずしも正しいとは限らないので、異文化交流において自ら実践し体験することで知識が正しいか検証することができました。

これからの 自分について

私は、今回の交流プログラムを通じて、自分の短所、特に日本語会話能力の不足を痛感しました。それにかんがみて、努力し続けたいと思います。

北東アジア青年交流の翼は、異文化理解や交流の重要な窓口で、これからも自分を鍛え続けて、次回の交流プログラムでもより多くの力を捧げようと思います。